協同の力で築く
「多彩な農業」と「元気な地域」

JA多気郡では、【協同の力で築く「多彩な農業」と「元気な地域」】を大きなテーマとして位置付け、
中期経営計画に「農業所得の増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の
3つを掲げ、自己改革に取り組んでいます。

農業所得の増大

農業生産の拡大

地域の活性化

JA多気郡
〒515-0321
三重県多気郡明和町大字斎宮1831番地21

JA多気郡は
自己改革に
取り組んでいます

JA多気郡

ＪＡの主人公は 組合員のみなさん

食と農を基軸として地域に根ざした協同組合（ＪＡ）は、同じ目的や志を持った人々が集まり、組合員となることで成り立っている組織です。正組合員は、農畜産物の生産や販売、生産資材の購買などに協同の力で取り組むことで、豊かな農業を育むことができます。そして、消費者に安全で安心な農畜産物を届け、わが国の食と農を守っています。地域の農業を豊かにすることは、地域の元気にもつながります。農業を通じて地域を豊かにする主人公、それがＪＡの正組合員です。

営農指導事業

営農に関する技術指導や相談等、組合員の営農支援のための活動を行っています。

農業経営事業

担い手が不足する地域の農地を中心に農業経営、農地維持を行っています。

利用事業

個人では所有できない大規模な乾燥設備や搾油施設を利用できるように設備運営しています。

生活指導事業

組合員のライフスタイルに合わせたくらしの活動を提案し、地域の活性化に取り組んでいます。

販売事業

市場に有利販売ができるよう、農産物をまとまった数量で売る「協同販売」を行っています。

購買事業

農業や生活に必要な安全で品質のいい資材を大量購入等で安価に仕入れ、安定的に供給しています。

信用事業

地域の金融機関として、貯金・融資・為替業務などの金融サービスを提供しています。

共済事業

助け合いの理念に基づき「ひと・いえ・くるまの総合保障」を提供しています。

総合事業の意義

ＪＡは、上記のように、多様な事業を総合的に展開することで、地域農業の振興や地域づくりに努めています。農業関連事業は、信用事業や共済事業などを含めた総合事業だからこそ、営農指導員の配置や大規模な農業施設投資を実現できています。

准組合員は地域の農業を豊かに

農業に直接的には関わることがあまりない人々でも、「准組合員」になることで、ＪＡの事業を利用できるようになる仕組みがあります。ＪＡには、信用や共済、ガソリンスタンド、高齢者福祉などさまざまな事業があります。これらは利用すれば、地域でより暮らしやすくなる事業ばかりです。正組合員にかぎらず、地域でＪＡの事業を必要とする人々が准組合員なのです。地域の農業を豊かにするためには、生産者だけでなく、農畜産物を食べる消費者の理解も必要だと思います。准組合員は、単にＪＡの事業を利用するだけの人々ではありません。正組合員と共に食を通じて農業を育み、豊かな地域社会を築くＪＡの大切な仲間なのです。ＪＡの主人公として、正組合員と准組合員が共に手を取り合い、食と農を通じて地域を豊かにしていきましょう。

ＪＡ多気郡は、総合事業で組合員・地域の皆様に必要とされるＪＡであり続けるために、組合員・地域の皆様とともに一歩先を目指し、「農業所得の増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標として自己改革に取り組んでいます。

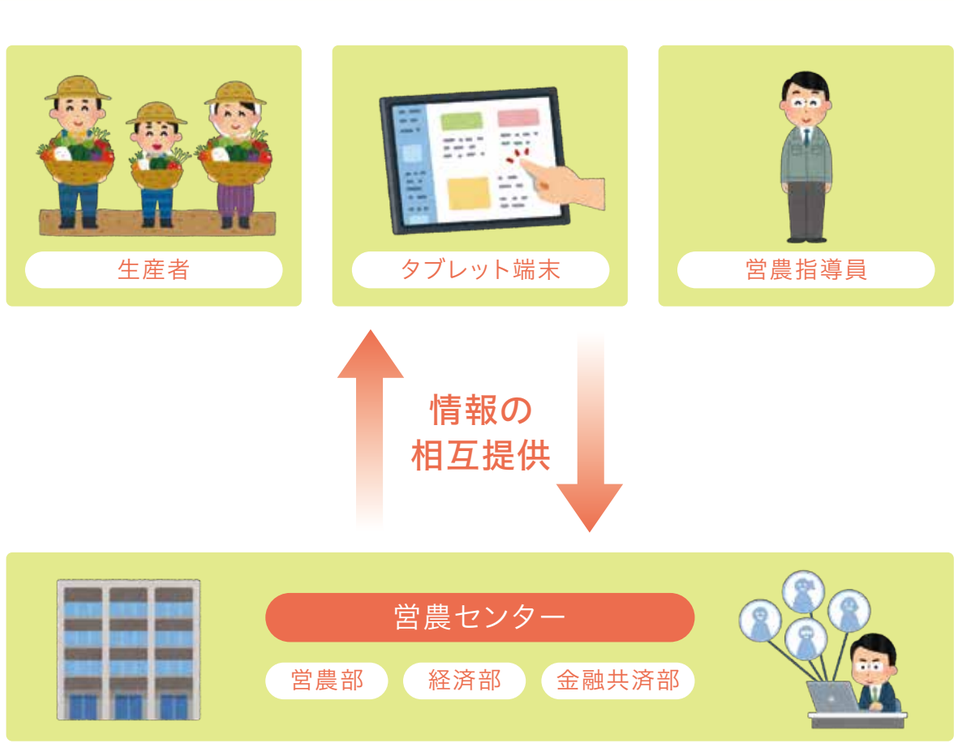
ＪＡ多気郡 の自己改革

「農業生産の拡大」「農業所得の増大」への挑戦

New!

タブレット端末iPadを活用した現地完結型ソリューション営農指導

営農指導機能を強化するため、農業に関する実用的なデータベースを検索できるタブレット端末を導入しました。個々の農家に適した栽培技術指導を現地にて実施し、即時に問題や課題の提起を行い、解決までをアドバイスする的確な営農指導に努め、訪問スキルの質向上に取り組みました。



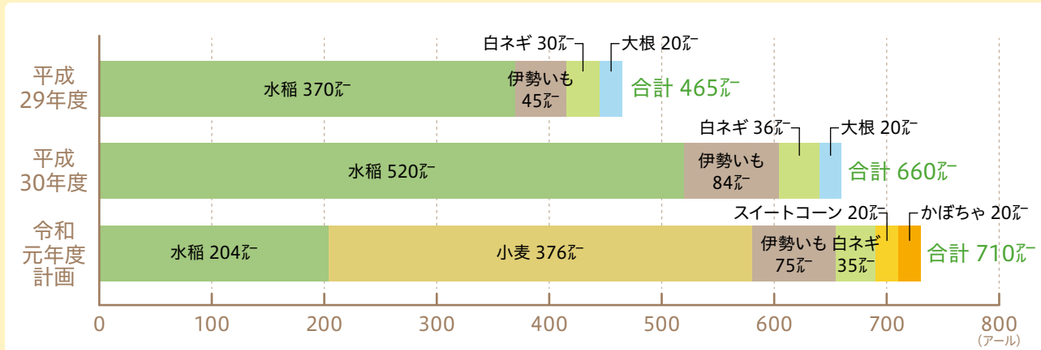
New!

4団体がJGAP認証取得

持続可能な農業を実現するために、生産者のＪＧＡＰ（日本版農業生産工程管理）認証取得支援に取り組んでいます。平成30年度に、当ＪＡの出資型農業法人株式会社多気郡アグリサポートの他、3団体がＪＧＡＰを取得しました。ＪＡ事業サポートセンターや農業改良普及センターなどの支援を受け、営農指導員も書類作成や打ち合わせ、現地での検討会などに参加し、認証取得に取り組みました。

JA出資型法人の取り組み

地域農業を支える多様な担い手や新規就農者の育成等を進めるために設立した「株式会社多気郡アグリサポート」は平成30年度で2期目を終了し、確実な成果達成に努めてきました。令和元年度の計画として新たに作付品目を増やし、農産物の生産・販売に取り組みます。



JA多気郡 の自己改革

米の品質向上に向けた取り組み

良質米生産に向け、土壌診断に基づく土づくりを推進し、適正な施肥により、高品質・良食味米の安定生産を図りました。また、出向く営農指導を強化し、生産者への生育診断等に基づく巡回指導やタイムリーな情報発信「営農だより」により栽培管理徹底の呼びかけを行いました。

就農支援、遊休ハウスの利用

就農支援として、遊休ハウスの利用、農業資金の支援を行い、意欲ある農業者のサポートを行いました。

成果指標	28年度	29年度	30年度
遊休ハウス利用	0件	1件/10㌃	1件/30㌃
新規就農支援	1件 新規経営資金 10㌃	1件 新規経営資金 10㌃	3件 新規経営資金 36㌃

加工用野菜の生産振興

食の外部化が進展し、加工・業務用野菜の需要が拡大する中、担い手を中心に水田裏作への提案を行い、農家の経営安定と所得向上を目的に、加工業務用野菜（白菜・キャベツ・南瓜）の作付け提案を行いました。

食の外部化＝家庭での食事等が、生活スタイルの変化や女性の社会進出により、家庭外に依存する状況。外で調理された総菜や弁当などを持ち帰って食べる食品類の中食や、外食の購入頻度が高まっている。

成果指標		28年度	29年度	30年度
加工用野菜 （白菜・カボチャ・キャベツ）	生産面積	1,654アール	1,797アール	1,780アール
	出荷量	731.8トン	522.8トン	849.0トン
	販売高	3,307万円	2,278万円	3,605万円
	出荷者数	56人	52人	50人

※平成 29 年度については、度重なる台風の影響で収量・品質が低下しました。

組合員農家のトータルコスト低減の実践

肥料・農薬

価格入札等により仕入価格を抑え、購買価格に反映しました。また、生産者の生産資材コストの低減化を目的に早期予約価格を設定し、取りまとめを行いました。全国約400銘柄から約10銘柄に集約し、1銘柄当たりの生産量を増やし製造コストを引き下げました。新たな園芸用有機配合肥料「菜果の匠（JA多気郡オリジナル）」を導入し、また、園芸用化成肥料「園芸化成480」は原材料を見直すなど低価格を実現しました。2銘柄とも15kg包装により労力軽減を図りました。

約400銘柄⇒約10銘柄　⇒　製造コスト削減による低価格化の実現

大型規格品の導入によるコスト低減

生産コスト低減に向け、水稲除草剤の主要商品に対して大型規格品の導入を推奨し、規格品への移行が拡大、生産コスト低減による農業所得向上に取り組みました。

成果指標	29年度	30年度	
1キロ剤	3,070円	3,019円	
大型規格剤	(1キロあたり)2,883円	(1キロあたり)2,797円	(1キロ剤との格差)▲222円
大型規格剤合計	1,712キロ	2,284キロ	前年対比133%

肥料・農薬大口予約購入者への奨励金の実施（水稲・茶）

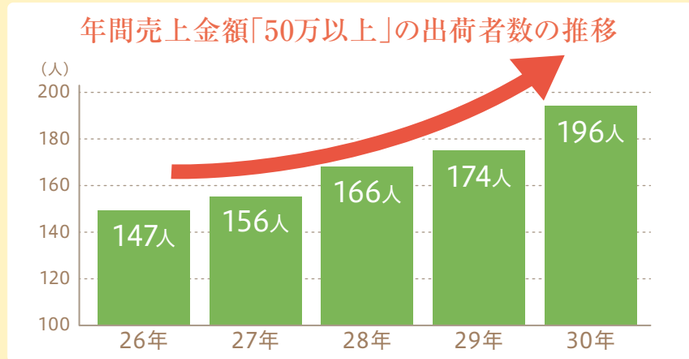
水稲・茶関連の大口購入者への対応として、50万円以上の予約購入者を対象に購入金額に応じて奨励を実施しました。

成果指標	27年度	28年度	29年度	30年度
件数	64件	60件	61件	60件
金額	395万円	393万円	387万円	428万円

JA多気郡 の自己改革

農産物直売所スマイルの拠点強化と直売課の新設

管内の特徴である少量多品目産地における生産者の所得増加に向けて、平成30年4月に「直売課」を新設し、拠点である農産物直売所スマイルの強化に努めたほか、旬の農産物や加工品、惣菜など品揃えの充実、生産者と消費者を繋ぐ集客イベントなどを開催し、販売拡大に取り組みました。また、出荷者への生産履歴記帳や農薬の適正使用指導のほか、新規栽培農家と販売アイテムの増加を図り、端境期に向けたハウス栽培・品目提案を行いました。



スマイル売上高			
27年	28年	29年	30年
4億5,981万円	4億6,632万円	4億9,570万円	4億6,150万円

スマイル来店客数			
27年	28年	29年	30年
353,058人	350,361人	356,260人	333,479人

New! 鮮魚市の開催

令和元年より伊勢湾漁業協同組合と連携し鮮魚市を開催しています。当日水揚げされた鮮魚や、新鮮な魚介類を移動販売車で消費者へ提供することにより直売所の利用を促進し、地域の生産者の生産物販売に繋がるよう努めています。

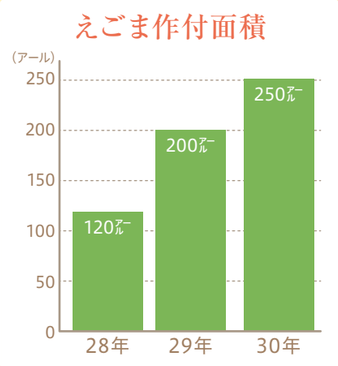
自然の味処すまいるの地元食材を活かした店舗づくり

広報誌やホームページへ旬の食材を使用したオリジナルレシピを公開し、農産物直売所への購買に繋げたほか、多気町産次郎柿を使用したオリジナルチャツネ入りのすまいるカレーを新しく販売するなど、地元食材を使用した食のニーズへの対応と地産地消の推進に取り組みました。

New! 奥伊勢えごま倶楽部による活動推進と新商品開発

平成28年度に発足した「奥伊勢えごま倶楽部」は、えごまの生産振興、農業所得の増大と安定を目指し、29年度にはえごま油搾油所を新設、30年度には「えごま葉×伊勢茶ブレンドティー」を「えごま葉茶緑茶ブレンド」としてリニューアルしたほか、新たに「えごま葉ほうじ茶ブレンド」を加え、販売に取り組みました。

えごま油には、体内では合成できないαリノレン酸が豊富に含まれています。くせのないサラッとした口当たりです。



JA多気郡の自己改革

次郎柿の販路拡大

次郎柿生産の拡大と輸出等による農家所得の増大・安定化に向けて、品質向上と販売強化を目指し、選果場の刷新を行いました。無落差選別システムとカラーセンサー選別を導入し、秀品率の向上と上位格の創出が可能になりました。また、個包装機を導入し、包装作業の効率化に加え、柿の日持ち向上により出荷時期を延ばすことが可能となり、海外への輸出拡大を図ることができました。

成果指数	28年度	29年度	30年度
販売高	1億4,326万円	7,190万円	1億634万円
出荷量	778トン	465トン	658トン
輸出出荷量	20.2トン	12.3トン	19.0トン

※平成 29 年度については、度重なる台風の影響で収量・品質が低下しました。

農機センター

農機センターでは、農繁期における休日対応により、利便性の向上と農機具点検整備会や安全講習会を開催し、農作業時の事故の未然防止に努めました。

給油所と自動車整備工場の複合施設「パルステーション」のサービス拡充

給油所と自動車整備工場の拠点として、明和給油所では、セルフ式給油機と最新型ドライブスルー式洗車機や洗車後の拭き上げセットなどを備えサービスの充実に取り組みました。また、自動車整備工場は熟練した整備士が修理・車検等のメンテナンスを行います。給油所、自動車整備工場ともに年間を通じた営業稼働日増により利便性の向上に取り組みました。

広報活動の強化

広報誌「はばたき」やホームページ、パブリシティ活動（マスコミを通じて報道してもらう取り組み）により、組合員をはじめ多くの地域住民に「農業振興の理解者、応援団」となって頂けるよう「食」「農」「協同組合」に関する情報発信を強化しました。

ＪＡ多気郡 の自己改革

「地域の活性化」への貢献

ふれあい活動・地域貢献活動

ＪＡ多気郡が事業運営を展開する３町（明和町・多気町・大台町）の各支店および営農センターを組合員・利用者の皆さまの最も身近な拠点と位置づけ、ＪＡ多気郡の役職員が地域行事等に積極的に参加し地域の活性化に努めています。

地域美化運動

清掃活動や花壇の整備など

地域イベントへの参加

お祭り等へ運営スタッフとして参加

スポーツ大会への参加

明和スポーツまつりに参加

交通安全運動（全拠点）

通学路等見守り活動

管内3町への地域活性化活動に対する寄贈とJA多気郡のPR

相可高校へ農業機械の寄贈

公共福祉施設へ新米寄贈

「食」と「農」を基軸とした協同組合活動の展開

ＪＡ多気郡は、地域の未来を担う子どもたちに対し、食を支える農業の役割、農業と生活・社会との関わり、地域の食文化、いのちと健康の尊さなどについて理解を深めてもらうための「食農教育」を関係機関や女性部員、地元の農家の皆さんの協力を得ながら実施しています。また、親子料理教室など世代やニーズに応じた食農教育を実施し、「食」と「農」に対する関心を高め、地域農業への理解促進に取り組みました。

農業体験教室

小学生の大豆の種まき

ミニトマト栽培

出前授業

小学生と栽培・収穫した大豆で豆腐作り

野上がり饅頭（いばら饅頭）作り

高齢者の生きがいづくり

年金をお受け取りいただいている方を対象に、グラウンドゴルフ大会やゲートボール大会、ゴルフ大会を開催し、多くの方にご参加いただいています。助け合い組織「にじの会」は、協力会員による高齢者の集い（ミニデイ）などの活動を行っています。また、「ふらっとほーむ」を開所し、介護予防活動を行いました。

グラウンドゴルフ大会

介護予防活動

女性組織の育成・活性化

「食」や「農」、「くらし」に関心がある女性の参加を促進し、女性部の会員拡大に取り組み、全体活動と各支部の独自活動の展開により、女性部の活性化に努めました。女性の声を事業運営に反映させるため、女性部役員とＪＡ役員との意見交換会を開催し、積極的な話し合いを行いました。また、地産地消の理解を深めるため、学校給食野菜栽培グループ「すこやかクラブ」「ベジタブル会」が、安全・安心な野菜を管内の学校給食へ提供しています。

ＪＡ役員と語る会

学校給食用の玉ねぎ収穫

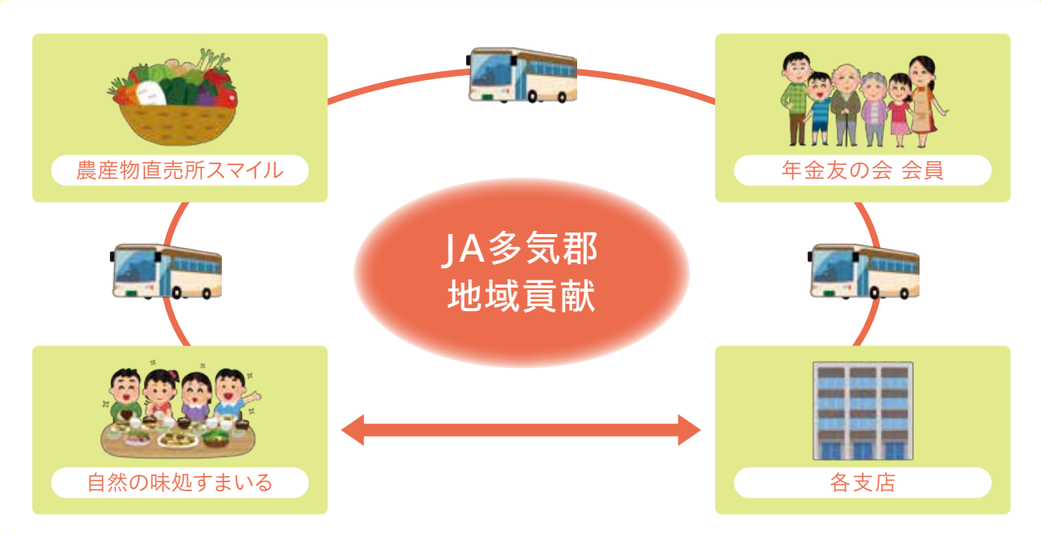
JA多気郡 の自己改革

今後の取り組み

地域の活性化

地域の暮らし支援 年金友の会 お買い物ツアー

JAでは、遠隔地にお住まいの方や、高齢者でお買い物が難しい方、免許返納された方々が農産物直売所スマイルでのお買い物やお食事を楽しんでいただけるよう、年金友の会会員を対象にお買い物ツアーバスの運行を開始しました。この取り組みにより、JAが消費者である年金友の会会員と、生産者である組合員の架け橋となり、地域の活性化と直売所出荷者の所得増大に繋げていくことを目的としています。



新店舗づくり 再編7支店をはじめとする施設整備

支店機能再編については、経営資源（職員・施設等の財産）を効率的に活用して、組合員・利用者の満足度向上を目指し事業伸長を図ることで、組合員と共に地域づくりに貢献するために取り組むものです。また、老朽化した支店をはじめとする施設を整備し、利便性の向上及び安全性の確保を図るものです。新支店を核としながらこれまで以上のサービスを第一に掲げて、組合員・利用者に引き続き親しまれ、ご利用いただけるJAとして事業活動を展開いたします。

●大台東部支店 ●大台支店	→	**大台支店** 令和元年5月オープン
●大淀支店 ●上御糸支店 ●下御糸支店	→	**明和北支店** 令和2年度オープン予定
●斎宮支店 ●明星支店	→	**明和南支店**（仮称） 令和3年度オープン予定

大台支店

パルステーション 給油所

パルステーション 整備工場

虹のホール領内